

会 議 録

平成23年12月28日調製

審議会等名	平成23年度 第2回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成23年11月30日(水) 午後1時55分～4時15分		
開催場所	三条市中央公民館 音楽視聴覚室	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞社
出席者氏名	委員 小林斉子委員(議長) 阿部涼子委員(副議長) 小野島臣儀委員 (12人) 桑原 理委員 安藤正之委員 今井久美子委員 五十嵐成子委員 小杉武久委員 米山文子委員 弥田正蔵委員 渡邊秀雄委員 阿久津文雄委員 (欠席者) 五十嵐公江委員 田中 茂委員 杉野真司委員		
	職員 宗村市民部長 金子生涯学習課長兼中央公民館長兼三条東公民館長 (11人) 太向図書館長兼歴史民俗産業資料館長兼諸橋轍次記念館長 坂井嵐南公民館長 藤崎井栗公民館長 鈴木本成寺公民館長 大坂大崎公民館長 坂井下田公民館長 長橋生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐 小林生涯学習推進係長 大島公民館渡辺期限付任用職員		
報 告	(1) 社会教育委員及び公民館研究大会等参加報告(9件)		
議 題	(1) 平成23年度生涯学習・社会教育事業の中間報告について		
	(2) 平成24年度生涯学習・社会教育事業の方向性について		
そ の 他	・公民館分館の管理方法について地元との検討協議について		
会 議 内 容	別紙のとおり		

小林議長	定刻5分前でございますが、皆様お揃いでございますので始めさせていただきます。本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。これより、平成23年度第2回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。今日は欠席3名で過半数を占めており、会議は成立しますので報告いたします。それでは、市民部長よりご挨拶をお願いいたします。
宗村市民部長	<市民部長挨拶>
小林議長	これより会議に入ります。初めに報告事項であります。各研究大会等での参加状況の報告について、出席された委員の代表の方に報告をお願いいたします。
弥田委員	第59回中越地区公民館研究大会（H23.6.29長岡市）参加について報告。
小林議長	第62回新潟県公民館大会（H23.7.15佐渡市）参加について報告。
渡辺委員	社会教育委員等研修会（H23.8.4新潟市）参加について報告。
阿久津委員	第50回中越地区社会教育研究集会長岡集会・中社連創立50周年祝賀会（H23.9.6長岡市）参加について報告。
小杉委員	第11回新潟県社会教育研究大会、第4分科会（H23.10.13村上市）参加について報告。
桑原委員	同上、第1分科会（H23.10.13村上市）参加について報告。
今井委員	同上、第2分科会（H23.10.13村上市）参加について報告。
小野島委員	中越地区公民館長・主事・公運審等研修会（H23.11.17湯沢町）参加について報告。
阿部副議長	第52回関東甲信越静公民館研究大会及び第42回関東甲信越静社会教育研究大会：合同茨城大会（H23.11.18つくば市）参加について報告。
小林議長	人数の限定がない研修会は、全員参加を旨としております。いろいろな事情で参加できなかったこともあるかと思いますが、次年度は全員参加でお願いしたいと思います。 それでは議題に入ります。 「議題（1）平成23年度生涯学習・社会教育事業の中間報告について」事務局より説明をお願いします。

金子生涯学習課長	<p>「生涯学習課事業」、「公民館事業」、「図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍次記念館」の三つに分けてそれぞれ説明させていただきます。</p> <p>まず、私の方から資料No.1「平成23年度生涯学習課実施状況について」、芸術文化事業と文化財事業の実施状況中間報告について説明いたします。</p> <p>—— 芸術文化事業、主に次の事業について説明 —— (文化芸術振興に関する懇談会、第7回三条市美術展、第7回三条市音楽祭、わくわく文化未来塾、芸術鑑賞ツアー、三条楽音祭、子ども読書活動推進事業)</p> <p>—— 文化財事業、主に次の事業について説明 —— (文化財保護審議会、第40回かぐら鑑賞会、歴史的建造物総合調査事業、国登録有形文化財大崎浄水場登録記念イベント、遺跡講演会)</p>
小林議長	<p>しばらくして質問がないようですので、次に進めさせていただきます。</p> <p>「公民館事業実施状況」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
長橋館長補佐	<p>資料No.2「平成23年度公民館事業実施状況等について」を報告させていただきます。11月6日現在で作成しておりますが、時間の都合上、各公民館、1つから2つ位ずつ概要を説明させていただきたいと思っております。</p> <p>—— 中央公民館、主に次の事業について説明 —— (通学合宿事業、パソコン教室)</p> <p>—— 嵐南公民館、主に次の事業について説明 —— (ふるさと講座、芸能発表会)</p> <p>—— 三条東公民館、主に次の事業について説明 —— (市民総合大学第2弾「アジアがアツイ！韓国語に挑戦してみよう、第2回三条東公民館文化祭)</p> <p>—— 井栗公民館、主に次の事業について説明 —— (くらしの講座「私だけのオリジナル箸作り」、旭地区体育祭)</p> <p>—— 本成寺公民館、主に次の事業について説明 —— (宿泊体験交流会、お役立ち料理教室)</p> <p>—— 大崎公民館、主に次の事業について説明 —— (こどもエプロンクラブ「秋いっぱいタルト」、大崎地区文化祭)</p> <p>—— 大島公民館、主に次の事業について説明 —— (生活お役立ち講座「地元の美味しい桃を使った料理教室」、大島地区スポーツカーニバル)</p> <p>—— 栄公民館、主に次の事業について説明 —— (おとなの学び家、2011栄公民館展)</p> <p>—— 下田公民館、主に次の事業について説明 —— (女性セミナー、下田文化祭)</p>
小林議長	<p>大変盛りだくさんの内容がございます。質問があったらお受けいたします。</p>

小林議長	<p>しばらくして無いようですが、実施状況は中間的なものでございますので、終了した時点でまた皆様からご意見、ご質問があらうかと思っておりますのでよろしくお願いたします。それでは次に、「図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍次記念館」の実施状況についてお願いたします。</p>
太向図書館長	<p>私の方から、資料No.3「図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍次記念館実施状況等について」を掻い摘んで説明させていただきたいと思っております。</p> <p>—— 図書館事業、主に次の事業について説明 ——</p> <p>(今年度から5年計画の中で実施される第2次三条市子ども読書活動推進計画に基づき事業を実施。ブックスタートボランティア養成講座、夏☆読書チャレンジスタンプラリー、夏休み調べる学習講座’11、夏の特別映写会など)</p> <p>—— 歴史民俗産業資料館事業、主に次の事業について説明 ——</p> <p>(展示事業：企画展、講座事業：三条歴史講座)</p> <p>—— 諸橋轍次記念館事業、主に次の事業について説明 ——</p> <p>(諸橋轍次博士の日、漢詩入門講座、諸橋轍次博士と一族遺墨展)</p>
小林議長	<p>只今の説明について、ご質問があったら伺います。</p>
阿部副議長	<p>2頁の企画展「齋藤シン(※)遺作展」の部分に関してですが、図書館や歴史民俗産業資料館とかは、言葉や文字を大切に作る場所だと思います。絵を描く方にとっても大変重要な方です。人の名前が違う字で書かれることについては、パソコンになれば書き字でもよいと思っておりますので、正しい字でお願いしたいと思います。</p>
太向図書館長	<p>ご指摘のとおりでございまして、ポスターの方は印刷会社に文字を作ってもらって入れましたが、ご指摘の部分ではパソコンになれば、手書きでもきちんと書くべきだったと思っております。今後注意いたします。</p>
小林議長	<p>質問がしばらくして無いようですので次に移ります。</p> <p>(2)「平成24年度の生涯学習・社会教育事業の方向性について」説明をお願いたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>年度当初にお配りしている「三条市の生涯学習」に年度計画があり、2頁に生涯学習課の全体的な基本方針・重点目標、7頁には公民館の運営計画で基本方針・重点目標が掲載されています。これから新年度の予算要求、計画に入るわけですが、今年度の基本方針・重点目標を参考に、社会教育委員さんから、来年度はどのようなものを重点目標にしたらいいか、あるいは、こういった観点で実施してもらいたいというような意見・要望がありましたら、極力それを取り入れながら計画したいので、お伺いしたいと思います。</p>

小林議長	「生涯学習課の基本方針・重点目標」、「公民館運営計画の中にある基本方針・重点目標」、いわゆる社会教育・生涯学習の肝になる部分の方向性について、皆さんからご意見を伺い、平成24年度の事業に活かしていきたいということです。大事なことなので、委員の皆様におひとりずつ意見を賜りたいと思います。
阿久津委員	公民館運営計画の重点目標の中にありますが、やはり、子供達に関するものを重点としてお願いしたい。
渡邊委員	地区館の地域の課題に即した事業にしっかりと予算付けをして、重点的にやれるような提案をお願いしたい。また、中央公民館や図書館でやっている全市民的な事業については、せっかく中央でやるのですから、例えば講座で2～3人の参加者しか集まらない事業など、再検討していく余地があると思います。
今井委員	地区の公民館それぞれの地域に即した事業。例えば、下田地区であれば体験学習とか、またそれに年齢層もあるかと思しますので、それらのバランスを組み合わせる事業を計画できるのではないかと思います。
弥田委員	わくわく文化未来塾は、一部定員に満たないものがあつたにせよ、初めての中で、ここまで多くの受講者の参加があつて良かったと思います。また地域の意見を伺いながら、要望を掘り起こして進めてほしい。
米山委員	2頁、生涯学習課 2重点目標（3）、世代間交流事業はもう少しあつてほしい。それと関連して、7頁、公民館運営計画 2重点目標（3）子どもの体験活動は、小学生から高校生まで全体に関わつての事業がよいのではないかと思います。
安藤委員	7頁の重点目標（3）に、異学年交流というものが入っていますが、計画の中において、小学生だけでなく中学生を交えての異学年ということを含めて取り入れていただきたい。
桑原委員	三条市美術展を見に行った時、別室に「わくわく文化未来塾」の小学生の作品が展示され、いいものを企画していると思った。子供達も忙しいですが、多くの人から参加いただき文化交流できたらよい。また、高齢者も出て行くことが苦手な方もいるが、何か企画があつたら参加したい方も多いため、高度なものでもなくてもいいので、何か企画があつたら良いと思います。
小杉委員	公民館の発表会に行った人の話を聞くと、書や絵は別ですが、音楽など同じグループの中から、あまりに大勢の人がまた一人ずつ参加していて、聴いていても飽きてしまう。公民館事業が趣味の会の集まりなのか、生涯学習なのか

	<p>からなくなっている。趣味の会との分離ができるのかどうか、その辺を検討する必要があるのではないか。公民館が仲間だけの集まりになってしまわないか危惧しています。あまり母体が大きすぎると他の人達が参加しづらいのではないかと思う。いろいろ参加させていただいて、今勉強中なので、委員長が求められていることについては、まだお話することは難しい状況です。</p>
<p>小野島委員</p>	<p>世代間交流、異学年交流ということについて、私は小学校に勤めているので思うことがあるのですが、小学生の参加は、ある程度呼びかければ集まるが、中学校、高校生、特に青少年の20歳前後までの人達は、何をやっても集まりが悪い。しかし異学年交流・世代間交流においては、老人と小学生でなく、老人と青少年とのふれあいみたいなものが社会教育の場面からは必要でないかと思う。今の現状、世の中の状況からすると、そのあたりの参加は非常に難しいのは確かであるが、全国的には、その辺の参加を得て少しでもやっている地域もあるので、そのあたりに、少しでも風穴を開けていくような試みが必要なのではないかと考えています。</p>
<p>阿部副議長</p>	<p>平成23年度の三条市生涯学習課の基本方針・重点目標を読むと、全てのものがここに入っていると思うが、三条市が、その中でもどれを一番重点として、24年度実施していくのか。例えば、23年度の時にもそれが見えなかった。それをどうするのかということについて、特別新しい事がなくてもいいと思いますが、重点目標(2)の「スマートウェルネス三条」、これは最近出てきた言葉で、市長さんもよく言われています。この“健幸”という言葉、三条市の行政全体の目標であれば、基本方針にこれを大きく打ち出してもらいたいと思います。ただ、この重点目標の中で欠けていると思われるのは、子育てと青少年の問題です。以前は、社会教育の中の青少年問題も、大きな家庭教育も含めて、社会教育・家庭教育・学校教育というのが教育の3本の柱でした。これは、人づくりをしていく上で一生変わらないものと思っていますが、教育委員会から出たらいつの間にかこの部分が無くなっています。将来の人づくりのためには、3つの教育の連携であると同時に、教育委員会と私どもの社会教育委員、委員同志の交流も重点目標の中に入れていただきたいと思います。大会の時、ある地区の方がおっしゃいましたが、教育委員会と社会教育委員が全く切れているところがあると言われていました。学校教育だけが教育委員会ではなく、学社連携という言葉があるように、これを進めていっていただきたいと思っています。</p> <p>また、社会教育の立場で立てた基本方針・重点目標が、実際の事業の場として公民館にどう活かされていくかは、みんなで考えてゆかなければならないと感じています。</p>
<p>小林議長</p>	<p>まとめとして、基本方針と重点目標には、全てが網羅しているように一見みえますが、現代課題という位置付けの中で、喫緊の課題としての位置付けがさ</p>

れています。公民館は現代課題と半歩前課題を目指していただきたいと思いません。もう一つは、先ほど、いろんな方が「地域」というキーワードを出されていますが、地域にはいろんな課題があり、それを消化していく力もあります。行政課題＝地域課題の位置付けの中では、行政がしっかりとした地域課題目標を設定した中で、地域におろしてゆくというやり方もあるわけなので、コミュニティがきちんと構築されて、事業展開されてはいいかなものかと思いません。

スマートウェルネスは、三条市の大きな行政課題の一つであり、それを生涯学習課が受ける意味は、“健幸”の「幸」の部分で関わらなければならない中で、生涯学習課の基本方針に入っているのだと思います。先日、「ふれあいトーク」に出席しましたが、そのレジュメの中で、その方向性が入っていました。それを具体的にするとどうということなのかは、あのままではまだ見えていない部分があったような気がします。資料の中に「まちあるきの冊子」があり、これは中心市街地の活性化と絡むのだという説明でしたが、はたして、この部分とスマートウェルネスシティと中心市街地の活性化がどのように機能し、次の段階へ構築してゆくのかということが、その場ではなかなか見えませんでした。おそらく、三条市の抱える行政課題である中心市街地の活性化ということから、「まちあるき」「スマートウェルネス」と繋がってゆくのだと思います。その辺は、これからの行政課題を受け取る側としては、きちっと前に進めていかなければならないものだと思います。

今日は個々の事業の発言が随分多く、それゆえ、皆さんは身近に感じられているのだと思います。今回は基本方針ということで、大きな枠組み、大きな方向性を皆さんに求めましたが、今日はまだそこまで至っていないこともあり、公民館の事業部分だけに触れられた方もおられ、また慣れてくれば、大きな方向性も見えてくると思いますので、生涯学習課の皆さんには次の機会にご期待いただくよう、よろしくお願ひしたいと思います。

4時までということで時間がありません。今までの倍くらいの濃密な部分をやっているわけですので、この2時間という中での会議の進め方について、これから考えてゆかなければいけないかなという気がいたしました。

金子生涯学習課長

24年度の指針等にかかるいろんな意見をいただきましてありがとうございます。また整理させていただきまして、その意見等を活かしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

小林議長

次に移らせていただきます。「公民館分館の管理方法について地元との検討協議について」事務局より説明をお願いいたします。

金子生涯学習課長

これについては、第1回目の会議に、方向としてこのような計画が打ち出されたということを報告させていただきました。これに関し、具体的に12月から冬場にかけて地元の方に伺いたいと思っていますので、説明をさせていただきます。

	<p>—— 資料No.4に基づき内容を説明 ——</p> <p>協議結果については、またしかるべき機会をみてご報告させていただきたいと思ひます。</p>
小林議長	この件については、よろしいでしょうか。
渡邊委員	地元へ説明に出るとは、地元とは、どういう人達を対象としているのですか。
金子生涯学習課長	自治会長の方へと考えております。
小林議長	時間がありませんが、他にどうしてもという方がいらっしゃいましたらお願いいたします。
阿部副議長	<p>公民館の来年度事業の関係で、今年度の報告をお聞きした中でお願いしたいと思ひます。通学合宿ですが、5回目となり増えていくのが普通なのに、減ってゆくのは何か絶対に理由があるのだと思ひます。三条に合わないのではないかとと思ひますので、思い切ってやめて、例えば、西明寺さんでやっているのは、あんなにいっぱい集まるのだから、夏休みにやるとか、どうしても学校へ送っての事業でなければ、集団の仲間づくりができないわけではないし、もう少し別の形であれば集まるのかもしれないと、考えをお変えになっていただけたらと思ひます。</p> <p>それから、栄公民館の事業は参加者が定員よりも多くて、充足率が150%、135%だとかありますが、ぜひ定員を増やしてください。より多くの人から参加できるように考えていただきたいと思ひます。</p> <p>また、11月24日の三條新聞に、労働問題の少し政党に関係のあるものが東公民館でやっている記事がありました。政治的な偏りのあるものに、公民館がお貸しになるのはいかながなものかと思ひます。</p>
小林議長	3点お話がありました。お答えください。
金子生涯学習課長	<p>通学合宿につきましては、年々減少している中で、今後どういうやり方がよいのか、反省会も開いておりますので、それを参考にしながら来年度計画を詰めてゆきたいと思っております。</p> <p>定員の問題につきましては、パソコン講座で10人とかは、パソコン台数での人数となるのですが、極力定員を少なくしているわけではなく、こちらの想定からの人数や、講師側との調整の関係から定員の設定をしてもらっています。今後、先ほどのお話を受けて、適切な定員の設定を心がけたいと思ひます。</p> <p>東公民館の新聞記事の件につきましては、政治的に触れるものかどうか、精査させてもらいたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。</p>

小林議長	<p>本日の議題につきましては、無事終了することができました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。記録につきましては、職員が作成したものを確認して、情報公開コーナーに設置いたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>阿部副議長、閉会の挨拶を短く一言お願いします。</p>
阿部副議長	<p>お忙しい中、皆さんご苦勞様でございました。また、事務局の方々もご苦勞様です。私達、2つの委員をひとつの体で受けております。聞くだけで、質問・意見を出さないのであれば役目になりませんので、2時間で今までどおり終わることはなかなか厳しいと思います。これからもう1回くらい増やしていただくとか、2時間を2時間半にさせていただくとかできたらと思います。皆さんの声が市政に反映する場でございますし、ご意見が出たほうが、やはりいい会議になると思います。今日は大変ありがとうございました。</p>